

原因の6割は
人的ミス

中小企業の

セキュリティ対策

—28—

デントに関する調査報告書【速報版】」によると、2018年に新

日本ネットワークセキュリティ協会（JN
SA）が本年6月に公
シデント件数は443
件、漏えい人数は56
1万3797人であ
り、17年のデータと比
べて増加という結果で
あった。

漏えい原因で見ると
最も多いのは「紛失・
置き忘れ」が117件
(26・2%)、次いで
「誤操作」が109件
(24・6%)。「不正
アクセス」が90件(20
・3%)、「管理ミス」

が54件(12・2%)と
いう結果であった。17
年のデータと比べて
「紛失・置き忘れ」と
「誤操作」の順位が入
れ替わったものの、漏
えい原因の上位4項目

増加する情報漏えい

暗号化など
技術的対策も必要

さて、人的ミスの対
策として管理的対策を
挙げたが、人に依存し
た対策だけでは人的ミ

スはなくなるしないし、
いざ事故が発生した際
には対策が不十分では
なかったかと指摘を受
ける可能性がある。そ
こで漏えいしても中身

印象を持つ人は少なく
はないだろう。しかし、
詳細な理論はともかく
として簡単な操作で暗
号化を設定できるOS
(オペレーティングシ
ステム)やオフィスア
プリケーションなどが
増えているので活用し
てほしい。

例えば、電子メール
の誤送信といった「誤
操作」による情報漏え
い対策として、電子メ
ールそのものを暗号化
する場合は専用の仕組
みが必要だが、文書作
成ソフトなどのオフィ
スアプリケーションの
機能として提供されて
いる暗号化機能を利用
すれば簡単な操作で暗
号化が可能である。

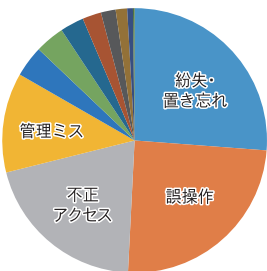
また、ノートパソコ
ンやスマートフォンな
どの「紛失・置き忘れ」
による情報「ウィンドウズ10」や
「Acrobat（ア
クロバット）DC」な
どの具体的な暗号化の
設定手順を作成してI
P Aのホームページ

に変更はない。また、
「紛失・置き忘れ」
「誤操作」「管理ミス」
とといった人的ミスによ
る漏えいが全体の6割
を占めている。

「誤操作」「管理ミス」
とといった人的ミスによ
る漏えいが全体の6割
を占めている。

は、まずはこのような
人的ミスをなくすため
の強化に生かしてほし
い。

漏えい原因の比率



出所：2018年情報セキュリティインシデントに関する調査報告書【速報版】（日本ネットワークセキュリティ協会）

「暗号化」
といった技
術的対策に
も同時に取
り組んでほ
しい。

「暗号化」
と聞くと難
しいという
機能として提供されて
いる暗号化機能を利用
すれば簡単な操作で暗
号化が可能である。

また、ノートパソコ
ンやスマートフォンな
どの「紛失・置き忘れ」
による情報「ウィンドウズ10」や
「Acrobat（ア
クロバット）DC」な
どの具体的な暗号化の
設定手順を作成してI
P Aのホームページ

(https://www.ipa.go.jp/security/jpg/documents/dev_setting_crypt.html)
で公開しているので活
用してほしい。

（独立行政法人情報処
理推進機構・江島将和）